

創立21周年！！ 更なるステージへ！

夢を追い 空翔ける



令和7年7月18日（金）埼玉県立戸田翔陽高等学校 学校通信第6号

終業式・壮行会・表彰式と学期末講話

校長先生より1学期を振り返って講話がありました。ついこの間入学式や始業式があったばかりの感覚です。あっという間の1学期でしたね。

続いて進路指導主事、生徒指導主任より講話がありました。いよいよ進路活動本番を迎えました。進学・就職いずれもこの夏休み期間中の時間の使い方が重要になります。また、基本的な生活習慣を整えることや、いわゆる「闇バイト」に代表される犯罪に高校生が巻き込まれる事案が発生しています。こうした事例を踏まえ、自分の身は自分で守るよう注意喚起がありました。

続いて壮行会が生徒会役員の進行で行われました。全国大会に出場するバスケットボール部・柔道部・剣道部・バドミントン部・男子バレーボール部・女子バレーボール部の6団体の壮行会が行われました。全国大会での活躍を期待しています。

表彰式では、全国大会出場の6部活と県大会団体3位、個人5位入賞の卓球部、福祉科の生徒体験発表の佳作入賞、日本語検定や英語検定などの合格者の表彰が行われました。

学期末には、交通安全教室や薬物乱用防止教室・性に関する講話などを実施しました。社会の変化に伴って、身の回りで生じる危険や新たな問題について確認する機会として、年間の指導計画に基づいて実施しています。

校長室より

ホームページの「校長室より」には校長先生のコラムが掲載されています。校長先生の人柄や考えに触れることができます。小旅行記や「いつの間にか無くなったもの」など、様々なコラムが掲載されています。ぜひ、時間を見つけてご覧ください。<m(_)m>

こんなものを読んできた(7) 校長 鈴木 健

「シズミ 上・下」トレヴェニアン(ハヤカワ文庫)

これは傑作・名作というより「奇書」の類かもしれません。タイトルの「シズミ」は「わび、さび」などとならぶ日本の美意識の「渋み」のことです。

1930年代の中国・上海で主人公、ニコライ・ヘルは白系ロシア人(1918年のロシア革命の時に国外避難したロシア人。貴族や金持ちが多い)の母の恋人、岸川将軍から日本の武道や文化を学び、岸川の友人の大竹七段からも囲碁を通じて日本の精神を学びます。

第二次世界大戦後の混乱期の日本で、ヘルは敢々な成り行きであらゆる殺人技を身に付けた最強の殺し屋となります。

1970年代、ヘルは殺し屋を引退し、スペインのバスク地方でゆったりと生活していましたが、そこに1972年のミュンヘンオリンピック事件(*)への報復を企み失敗したハンナというユダヤ人テロリストの少女が逃げ込んできます。ハンナは敵対するテロ組織だけでなく、石油資源支配をもくろむアメリカの「マザーカンパニー」という組織からも狙われています。ヘルは十分な覚悟もなくテロに身を投じたハンナを助ける義理はない、と考えていました。しかしハンナを追うマザーカンパニーは、暴力や金銭的利益で人を操る商業主義の権化で、日本の伝統的価値観を追求するヘルにとっては、相容れない俗悪な集団です。それがヘルの平穏な生活を破壊しようとしたことから、ヘルは戦いを決意します…。

日本の精神を追求する殺し屋ニコライ・ヘルは、とにかく強くかっこよく描かれています。彼にかかればペーパークリップやメモ用紙など、あらゆる物が殺人兵器に早変わりです。全ての日本人がこんなことができると思われるとちょっと困りますが…

かつて(今も)日本人というと欧米社会では人種差別にさらされることもありました。が、教養ある欧米人からは、日本と日本文化は敬意をもって見られていました。ちょっと話がそれますが、今、アメリカで野球の大谷翔平選手が活躍しています。大谷選手は大柄なアメリカ人をも上回る体格とパワーでスーパースレーを連発しています。しかし大谷選手への高い評価は、野球の実力だけでなく、グラウンドのゴミをさりげなく捨てるか、球場の雑用係のボールパーソンにもきちんと礼を言うとかの立ち居振る舞いに、古風で礼儀正しい日本人のイメージがあるからだと思えます。

しかし現代の日本で、そういった人がどれだけいるでしょうか。私などは、ネットで風向きのいい方にくっついて、弱い側を炎上させて調子に乗っているような人たちが、自分と同じ日本人と考えるのも不愉快です。「シフミ」は今から50年近く前の1979年の作品ですが、この作品で描かれた日本文化や日本人像は、今や日本に逆輸入すべきものとなってしまいました。ロシア人であるニコライ・ヘルが日本人以上の「シフミ」の求道者であるように、自分が日本人であるかどうかは、外見や出自とは(国籍とも)関係なく本人の自覚の問題だと思えます。

「シフミ」は戸田翔陽高校図書館にも入っています。古い文庫本で小さな活字で読みにくいのですが、興味を持った人はぜひ読んでみてください。

(*)1972年のミュンヘンオリンピックでイスラエル選手団の宿舎が、イスラエルと敵対するアラブ系テロ組織に占拠され、人質となった選手らが虐殺された事件。イスラエルとアラブ系の人々がなぜ対立するのかは、地歴・公民科の先生に聞いてください。



本校の学校通信は
ホームページからも
見られます。

